

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 蒲刈港 港湾海岸保全施設整備事業に伴う業務委託（大浦地区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 護岸

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	呉市蒲刈町 大浦地内	北緯	34° 11' 0.4897"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和元年 9月 5日 ~ 令和元年 9月 6日	東経	132° 45' 17.9327"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
ア	コ	鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T. P. -0.28m	角	180° 上下 0° 90°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	10.00m	地盤勾配	鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 YS0-1H エンジン NFD-12
				ポンプ	SP-40B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取番号	室内位置試験	削孔月日	
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量
1	-0.98	0.70	シルト混じり砂質礫	砂質シルト	炭褐色~暗灰			rc1		礫は径10~50mm程度の角型が主体。粘性は弱い。含水を多く含む。	▽	1.00	ハンマー	0	500	P2-1	○	密度、含水比、粒度、液限性		
2	-3.18	2.40		玉石	暗灰					L=30cm程度の短柱状コアが主体。		1.50	ハンマー	0	600	P2-2	⊕	密度、含水比、液限性、液状限界、流動限界、動易CI、圧密		
3	-3.68	3.40			暗灰					礫は径10~20mmの垂角~亜円型が主体。砂は細~中砂が混じる。含水は中ぐらい。		2.00	ハンマー	0	600	P2-2	⊕	密度、含水比、液限性、液状限界、流動限界、動易CI、圧密		
4	-4.83	4.55	シルト混じり砂質礫		暗灰			rd2		粘性は強い。礫は径2~10mmの角型が混入する。含水は少ない。		3.55	3	4	3	10	P2-3	○	密度、含水比、粒度	
5	-5.43	5.15	礫混じり砂質粘土		灰					主として粘性土状である。一様に強風化している。指圧で容易につぶれる。		3.77	3	2	2	7	P2-4	○	密度、含水比、粒度	
6	-6.08	5.80	花崗閃緑岩・粘性土		白黄灰					主として砂質土状である。指圧で容易につぶれる。不均質に強風化している。		4.45	3	3	5	11				
7	-7.28	7.00	花崗閃緑岩・砂質土		黄褐灰								5.45	17	17	14				
8					黄褐灰								6.45	10	10	50	130			
9					黄褐灰								7.05	10	30	50	250			
10	-10.28	10.00			黄褐灰								7.18	15	18	17	50	280		
					黄褐灰								8.15	15	18	17	50	250		
					黄褐灰								8.40	20	30	50	280			
					黄褐灰								9.05	20	30	50	190			
					黄褐灰								9.21	15	18	17	50	280		
					黄褐灰								10.15	15	18	17	50	280		
					黄褐灰								10.43	15	18	17	50	280		